

住所が変わるんや?!



地図から大阪市が 消えるからニャー!



住所変更の問題点 を一緒に考えましょう!

区名は地元の歴史と地元愛の象徴!

区名は地元の歴史とともに**地元を愛する市民の心に根付いており、手続きの有無に矮小化はできません。**

区名にはこんな歴史が込められています。聖徳太子と生野長者の物語から生野区、古歌「難波津に咲くやこの花 冬ごもり 今は春べと 咲くやこの花」から此花区、源頼朝ゆかりの鶴が飛来したという鶴見区、奈良時代に上町台地の東西の地名が今に伝わる東成区、西成区などがあります。



淀川が流れてないのに淀川区になる港区、南西の端やのに中央区になる住之江区。地名は11月1日以後に市長が決める…。あちこちで地名をめぐる騒動が起こるのでは?!

会社・個人の負担が必ず発生!

大阪市廃止で住所が変わることは大きなデメリットです。維新は免許証や保険証などの手続きは不要と打ち消しにやっきですが、**名刺や封筒をはじめ会社や個人の負担は自腹**です。

特別区設置コストの多くは住所変更で発生

初期コスト241億円の内、**約190億円は、住所変更によるシステム改修経費や住居表示板の変更などの費用**です。市民が住所印や名刺で余分な負担が出るだけでなく、「特別区」の財政も圧迫するのです。

庶民の町大阪が刻んできた近代史の象徴的建築物です。

その跡地にできたのが新世界であり、2012年に100周年を迎えた通天閣です。いまの2代目が再建されたのは1956年。新世界町連合会役員、さらに地元の人々の出資で通天閣観光株式会社が始まりました。

酒井隆史『通天閣 新日本資本主義発達史』は、「王将―阪田三吉と『デーブサウス』の誕生」など、通天閣下の人々の営みをとおり、大阪の「一大資本主義パラマ」を描きます。

大阪市 **今昔** 物語

13

通天閣



つばらの灯が消えた新世界